

	子どもの育ちに関して	保護者支援に関して	食育に関して	健康・安全に関して	その他（よかったこと・改善点）	次年度につなげるために
たんぼ組	<p>月齢の個人差はあったが、成長に応じて一人一人に合わせ保育を行う事が出来た。子どもがやってみたいと思う事を受け止め、援助を行いながら、沢山の体験を行う事が出来た。また、リトミックや運動遊びを行い、遊びの幅が広がった。つかまり立ち、歩行が出来たのでよかったと思う。</p>	<p>保護者が不安に思っていることなど、相談が行いやすいよう、降園の時には、日々の保育園での様子を伝え、コミュニケーションを多くとれる環境作りを行った。また、クラスだよりやおたより帳を通して、個々の成長を伝える事で、家庭でも実践していただくことが出来た。保護者の悩みを担任間で共有することで、解決につなげる事ができた。</p>	<p>給食室や家庭と連携し、月齢やその日の体調に合わせて、離乳食を進める事ができた。手づかみ食べを行えるようになった時には、自分で食べたい気持ちを受け止め、持ちやすい大きさに切ってもらいなど、給食室の協力も得て進める事ができた。クッキー作りやうどん作りでは、実際に生地に触れる事ができた。また、おすしバイキングでは、おすしを握る姿を見学し、貴重な体験をすることができ良かった。</p>	<p>戸外で遊ぶ際には、保育者が大木や事故やけがにつながらないよう、危険の無いよう見守り、安心して遊ぶことができた。便の様子や熱の有無など普段と違う時には、降園時に伝えるなど家庭との連絡をこまめに行い、感染症の早期発見に心掛けた。睡眠時には、プレスチェック及びうつぶせ寝の注意に加え、赤ちゃんセンサーを使用し、SIDSの予防に努めた。</p>	<p>障がい（ダウン症）の子どもへの対応として、保護者とおたより帳を活用したり、登降園時の家庭でのようすを細かく聞くように心掛けた。個々の通院結果などを家庭と共有することで、配慮を行いながら保育をすることができた。</p> <p>室内の環境構成において、壁面など季節感のあるものをさらに考慮するとよかった。</p>	<p>保育をする中で、活動や遊びなど日々どのように進めていくのか工夫し、臨機応変に対応できるとよいと思う。複数担任で連携を図る為、報告・連絡・相談を意識していく事が大切だと思う。</p>
ちゅうりっぷ組	<p>月齢による発達の違いが大きかったが、一人一人に合わせた援助を行い、年度末の頃には個人の違いが縮まった。毎日戸外で遊ぶことにより、遊具に興味を持ち、少しの段差から上る事から始め、腕や足の機能が発達した。</p> <p>一人遊び中心から、身近にいる友達の影響を受け、出来る事の幅が広がってきた。また、友達との関わりが増え、教えてあげたりやってあげたりする気持ちが育ってきた。</p> <p>言葉が未発達の為、泣いて意思を伝えようとしていたのが、保育者が気持ちを代弁する事で、納得する事が出来、成長と共に言葉で意思表示ができるようになった。</p>	<p>降園時の言葉がけやおたより帳を活用することにより、家庭での様子を聞いたり、保育園での様子を伝えたりして、情報交換を行い、子育てや成長についての相談を気軽にできるような環境づくりを心掛けた。</p>	<p>調理担当者と担任間で連絡を密にとり、アレルギー児の除去食や、食材の大きさ等確認しながら進める事ができた。</p> <p>食べられない食材などは、栄養士による食育指導の時間に食材を見せたりし、身近に感じられるようにした。保育者の言葉がけにより、手づかみ食べからスプーンやフォークを使って食べられるようになってきている。嫌いな食材も少しずつ味に慣れるようにして、徐々に自分から食べるようになってきている。</p>	<p>その日の子どもの体調を登園時の保護者からやお便り帳を活用し、担任間で共有し、体調の変改に対応することが出来たと思う。また、転倒や高所に対する安全面に特に注意して保育を行った。</p> <p>感染症が流行する季節には、ウイルスについて保育者同士で話し合い、手洗いを徹底して行った。</p>	<p>昼食後の排せつや着替えの対応について、遊びのスペースを確保したりすることにより、落ち着いて行う事が出来る様であった。次年度も、子ども達の様子を見ながら取り入れていくとよいと思う。</p>	<p>環境の変化の戸惑いなどにより、子ども達が泣いてしまったりしないよう、言葉がけを多く行い、落ち着いて進級できるような関わりを行っていくとよいと思う。</p>

ばら組	<p>個人差を考慮し、子どもの良いところに目を向けた保育を行った。出来ないことは、個別計画に沿って保育者間や保護者と話し合いながら保育を勧めたことで、排せつの自立や食事、生活への取り組みや友達との関わり、遊びの取り組みに興味・関心が広がり、新しい活動に意欲的に取り組むことができた。問題が起きた時は、同じことが起こらないよう話し合い、確認するようになった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おたより帳の活用や送迎時、出来る限り個別に対応を行い、保護者に一日の様子や成長する姿を伝え、一緒に喜び合えたのでよかった。</li> <li>・クラスだよりを活用し、子どもの育ちを写真で見やすくわかりやすく工夫した。</li> <li>・外国籍の保護者に対しては、書類や行事等の用意に関して、なかなか伝わりにくかったが、出来る限り丁寧に対応し、理解してもらえた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士と連携を図りながら、手洗い指導や調理体験、箸の持ち方など食育を行った。旬の食材に触れることは、食べる興味にもつながった。</li> <li>・一年間継続して様々な経験ができ、喜んで取り組むことが出来た。</li> <li>・感染症の予防や食への興味を持つことができた。</li> <li>・アレルギー児の対応に関し、保護者と栄養士の連携や話し合いを持つことで、様々な食事を事故なく提供することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嘔吐処理の対応を確実にすることで、感染拡大防止につながったと思う。</li> <li>・運動前の準備体操や、安全な環境づくりをすることで事故や怪我の防止につながった。又、職員間で声を掛けあう事で、子ども達が安全に遊びに参加することができた。</li> <li>・発熱時などの対応では、職員間で速やかに連携することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数担任である為、一人一人の子どもにゆったりと関わり、気持ちを理解し、受け止める事ができた。</li> <li>・担任間の理解に差がある為、メモを活用することが大切だと感じた。</li> <li>・アレルギー児がいたことにより、対応等理解を深める事ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、職員の連携を大切にし、一人一人が安心して活動できるような保育を行ってほしい。</li> <li>・保護者懇談会や給食の試食会など、子供の成長を感じる事ができる機会をさらに増やしてもよいと思う。</li> </ul>
ゆり組	<p>友達との関わりの中で、保育者と一緒に考えながら相手の気持ちに気づき、理解できるようになった。</p> <p>少しずつではあるが、集中する力がついてきた。</p> <p>自分の事が少しずつ出来る様になり、困ったことは言葉で伝えられるようになった。</p> <p>集団遊びを取り入れる事で、遊ぶ楽しさやルールを守る事の大切さがわかるようになってきた。</p>	<p>送迎時に子どもの様子や成長を伝える事で、共に喜び合う事ができた。</p> <p>給食の摂取量や午睡の時間など、個別に対応を行った。</p>	<p>箸の持ち方を年に2回行う事で、練習や確認を行う事ができた。また、マナーを学ぶきっかけづくりとなった。</p> <p>マンゴーやトウモロコシの皮むき、クッキー作り、すいか割り、うどん作り、すしバイキングなど様々な体験を通じて、食への興味・関心を持つことができた。</p>	<p>手洗い、うがい、消毒を行う事が身についてきて、風邪予防を行う事ができた。</p> <p>危険がないか安全確認を行うようにしていたが、手が出ない、周りが見られない等で怪我が見られた。言葉では、注意を促してはいたが、今後は活動の中に危険防止が身につくような内容を取り組むとよいと思う。</p>	<p>毎日の挨拶を徹底することで、自ら保育者や友達に挨拶をすることが出来るようになった。</p> <p>靴を履く際、左右や履き方を少しずつ教えていく事により、子ども達の意識が変わってきた。</p> <p>発達の遅れが見られる子に対して、援助の方法が同じになってしまった。その都度臨機応変な対応が取れなかった。</p>	<p>気になる子への対応に関して、保育士個々がレベルアップして、様々な対応が取れるとよいと思う。</p>
さくら組	<p>言葉遣いにおいて、色々な単語を覚えていったが、乱れた言葉を使う子もいるので、その都度知らせていった。</p> <p>友達との関わりの中で、自分の気持ちを相手に伝える事が増えると同時に、意見の違いでトラブルになる事があり、友だちの意見を聞くことができる様配慮した。友達の気持ちに気づくことが出来る様になったり、少しずつ我慢が出来る様になった。</p>	<p>送迎の際、その日の出来事や体調、友だちとの関わりの変化などを知らせたり、家庭での様子を密に聞くことができた。食事面では、量の調節、アレルギー（添加物の除去）など保護者と相談し合い、共通理解のもと進めていった。</p>	<p>箸の指導の後は、園では給食の時間に子ども達が持ち方を意識できるよう声を掛け見守っていったが、家庭においても正しい箸の持ち方に関して協力してもらえるよう進めればよかった。</p> <p>年間を通して、うどん作り、握りずし体験など実際に食材を見たり、触れたりして食への関心を高めるよい経験となった。</p>	<p>危険なものや場所がわかり、保育者が伝えると、子ども達自身で意識し、気を付けられるようになった。</p> <p>遠足や発表会などを通じて、静かにする、走らない、他の人に迷惑を掛けないなど公共の場でのマナーが身についた。</p> <p>うがい、手洗いの必要性を繰り返し伝えていき、子ども達が自ら進んで行えるようになった。</p>	<p>ゴミ拾いを行う事で、地域に目を向ける事が出来、クラス内でもゴミがあれば拾うなどきれいにする気持ちを持つことができ、身についた。</p> <p>途中入所の子や外国籍の友達が困っていたり、わからないことがあると、子どもたち同士で教え合い、助け合う姿が見られた。</p> <p>行事や季節の移り変わりなど、自然の事象を交えて、季節の変化を感じ取ったり、興味や関心を育て、豊かな心情や思考力の芽生えを培っていったらよかった。</p>	<p>歌を覚える際、歌詞を書きだすことで、ひらがなを目にする機会が増え、覚えるきっかけになると思う。</p>

すみれ組	<p>4月は椅子に座っていることや、人の話を聞く態度が身についておらず、まとまりが見られなかったが、日々の関わりや1つ1つの行事を通して年長の自覚も出てきて色々なことが身に付き、落ち着いて生活できるようになった。又、運動会や発表会を通し、一つの目標に向かって団結する大切さを学べた。</p> <p>友達との関わりでは、自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞き入れたり、相手を思いやり協力して遊べるようになった。</p>	<p>クラスだよりやおたより帳、登降園時に保育園や家庭での様子や、子どもの成長を伝達し合う事ができた。</p> <p>気になる子への対応は、保護者とうまく連携をとり、本人の負担にならないよう保育を進める様心掛けた。</p> <p>就学に対しての相談に乗ったり、就学先の小学校の様子や身に付けておきたい事など知らせ、共通理解を図った。</p>	<p>直接食材に触れられる食育指導が多くあり、子ども達も喜んで取り組んでいた。また、子ども達にとって良い経験になった。</p> <p>マナーの指導が定期的に行われていたが、同じ内容の事が多かったため、少しずつでも変化をつけてもらえると子ども達もより興味を持って取り組めると思う。</p>	<p>子ども同士のトラブルやけがなど自分たちで解決してしまい、保育者が把握できなかった部分があったが、入室時や帰りの時に報告できる時間を作ったことにより、経緯を知ったり対応することができた。</p> <p>4月から小学校へ通学する事を踏まえ、交通安全や不審者に関する話や紙芝居を読んだり、話し合う場を設ける事で、安全についての意識を持てるようにした。</p>	<p>子ども達にわかるようカレンダーに行事などを書き入れる事により、見直しをもって生活することができた。</p> <p>年長の自覚を早く持てる様、他のクラスとの交流を多く取り入れていく。</p>	<p>円滑な保育を進めるために、担任同士でよく話し合い、速めに計画を立てて取り組んでいくとよいと思う。</p>
児童クラブ	<p>異学年が集まる集団生活の中で、遊びや活動を通し、協調性や思いやる心を身に付けていった。日常生活において、役割分担を決め、自分の仕事にしっかり責任をもって取り組むよう指導し、責任感を育てた。そして、自発的にしたことは十分ほめる事で自主性を高めた。</p>	<p>お迎え時に、保護者と積極的にコミュニケーションを図り、学童での子どもの様子を日常的に伝えるとともに、家庭での様子も聞き、情報交換を図った。子どもの事で心配なことがあった場合や、相談を受けた際は、その子にとって良い方法を保護者と職員間で話し合い、アドバイスを与えたり、改善策を考え保護者支援につなげた。</p>	<p>食事の前後に挨拶を行い、食物を大切にすることや感謝の気持ちを表現することの大切さを伝えた。昼食時やおやつの際、配膳の仕方や食事のマナーや姿勢についても指導した。</p> <p>また、クッキーやケーキ作りなどを通し、自分で作る喜びや楽しさを感じるとともに、季節ごとの食文化にも触れ、興味・関心を深めた。</p>	<p>一人一人の表情や様子を良く観察し、異常があった際は速やかに対応するよう努めた。また、水分補給や衣類調節、手洗いうがいの指導を徹底して行い、自分で健康管理ができる様促した。保育室や遊具の点検を毎日行うとともに、危険な行動にはしっかりと注意をして、安全に過ごせる環境づくりを意識した。</p>	<p>お年寄りと製作を楽しんだり、ジャガイモ堀を行い、沢山交流することができた。また、地域のゴミ拾いを実施したり、散歩やマラソン、小学校での遊びを通して、身近な社会や自然と関わる機会を多く設ける事ができた。子ども同士のけんかやトラブルが見られたので、一層子どもの行動を観察し、適切な対応をとっていけるようにしたい。</p>	<p>普段より関わりや問題点が見られたときは、職員間でその都度話し合い、共通意識をもって保育にあたるよう心掛ける。ルールや生活の流れなど見直し、子ども達が安心・安全に過ごせるような環境を整えていく。</p>
給食	<p>(1) 給食の提供について・・・食べやすい大きさの工夫、食べきったという達成感が持てる盛り付け量の工夫、おかわりの対応を行ったことにより、残食も減っているが、まだメニューによりばらつきがみられる。新しいメニューも少しずつ取り入れ、味付け、彩り、組合せ他、さらに改善していきたいと思う。</p> <p>(2) 食育について・・・子ども達が熱心に取り組む様子がとても印象的だった。同じ内容を繰り返し行ったことにより、興味を持ち・意識付につなげられたと思う。</p> <p>(3) 改善点及び次年度への課題・・・給食については月齢に見合った大きさ、量の提供の継続。季節感を取り入れたメニュー、和食の展開を行っていく。</p> <p>食育については、箸の持ち方指導、咀嚼の重要性など繰り返し指導を行っていく。</p> <p style="text-align: right;">株式会社 LEOC 栄養士 北河</p>					
園全体として	<p>幼保連携型認定こども園への移行に伴う説明会等、制度が未確定な部分において、保護者の皆様にはご不便をかけたことと思います。次年度から、幼保連携型認定こども園となり、今年度以上に質の高い教育・保育の提供の為、職員の資質向上を図ってまいりたいと思います。</p> <p>衣服や持ち物の間違い等もあり、ご迷惑をおかけしたことと思います。来年度も継続して、ミスを防ぐようにしていきたいと思っております。</p> <p>情報提供については、今までの園だよりだけではなく、ホームページのリニューアル、メール一斉送信等導入し、日常保育の情報発信・提供を行う予定です。</p> <p>特別保育についても、保護者の皆様の子育て支援をさらに向上していきたいと思っております。また、地域貢献としての子育て支援を行っていきたく思います。保護者の皆様で困っていること、改善してもらいたい事なんでも結構です。お気がるにお話ししていただくと助かります。</p>					